

第1章 タンザニア連合共和国、モザンビーク共和国班報告

I. 派遣団の構成・調査日程

第1 派遣団の構成

○期間

平成25年3月8日（金）～平成25年3月14日（木）[6泊7日 うち機中2泊]

○派遣団の構成

団長	参議院議員	津田 弥太郎（民主）
	同	石橋 通宏（民主）
	同	山本 順三（自民）

同行	文教科学委員会調査室次席調査員	今村 和男
	環境委員会調査室調査員	天池 恭子

第2 調査日程

	午前	午後	宿泊
1日目 3月8日 (金)		【移動】 成田発(17:30) →バンコク着(22:50)	機中
2日目 3月9日 (土)	【移動】 バンコク発(00:40) →ナイロビ着(06:10) ナイロビ発(09:00) →キリマンジャロ着(09:50) 【案件視察等】 レキタツ灌漑地区(技)	【案件視察等】 青年海外協力隊員等との意見交換 アルーシャ工科大学(技) マクユニ・ンゴロンゴロ間道路整備 計画(無)	カラツ
3日目 3月10日 (日)	【案件視察等】 ンゴロンゴロ自然保護区ビジ ターセンター展示及び視聴覚 機材整備計画(無)	【案件視察等】 マハンデ灌漑地区(技) JICA所長等との意見交換 【移動】 キリマンジャロ発(20:20) →ダルエスサラーム着(21:40)	ダルエス サラーム
4日目 3月11日 (月)	【説明聴取】 在タンザニア日本国大使館 【案件視察等】 キゴダ産業貿易大臣との意見 交換 チザ農業食料安全保障協同組 合大臣との意見交換	【案件視察等】 国連各機関(UNDP、UNHCR 及びWFP)代表との意見交換 タンザニア電力公社トレーニングスクール(技) CCBRT(包括的・地域密着リハ ビレーション・タンザニア)病院(無、技) 日本企業関係者等との意見交換	ダルエス サラーム
5日目 3月12日 (火)	【移動】 ダルエスサラーム発(06:45) →ヨハネスブルグ着(09:25)	【移動】 ヨハネスブルグ発(13:50) →マプト着(14:55) 【説明聴取】 在モザンビーク日本国大使館 【案件視察等】 ノールマホメッド鉱物資源副大臣 及びレベロー口運輸通信副大臣との 意見交換 青年海外協力隊員等との意見交換	マプト
6日目 3月13日 (水)	【案件視察等】 太陽海岸小学校(無、JOCV) マフィゴUNAC(全国農民組 合)代表との意見交換	【移動】 マプト発(12:10) →ヨハネスブルグ着(13:15) ヨハネスブルグ発(14:25) →ドーハ着(23:20)	機中
7日目 3月14日 (木)	【移動】 ドーハ発(01:25)	【移動】 →成田着(16:55)	—

(備考) (無)は無償資金協力、(技)は技術協力、(JOCV)は青年海外協力隊派遣の案件を示す。

なお、派遣団は、帰国後の4月2日(火)、モザンビーク共和国のパシェコ農業大臣と意見交換を行った。

タンザニア調査対象案件（位置図）

レキタツ灌漑地区
 アルーシャ工科大学
 マクユニ・ンゴロンゴロ間道路整備計画
 ンゴロンゴロ自然保護区ビジターセンター展示及び視聴覚機材整備計画
 マハンデ灌漑地区



タンザニア電力公社トレーニングスクール
 CCBRT病院

[主な意見交換]

- ・ キゴダ産業貿易大臣
- ・ チザ農業食料安全保障協同組合大臣
- ・ 国連各機関（UNDP、UNHCR及びWFP）代表

モザンビーク調査対象案件（位置図）



[主な意見交換]

- ・ ノールマホメッド 鉱物資源副大臣及びレベロー 運輸通信副大臣
- ・ マフィゴ UNAC（全国農民組合）代表
- ・ パシェコ 農業大臣（帰国後）